



東京電力(株)東通事務所 広報誌

ゆきしろみず

Vol.5

夏号

2006.6.30

発行/東京電力株式会社 東通事務所 〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303 TEL0175-48-2121(代)・FAX0175-48-2019
ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/higashidori~np/index~j.html>



新緑に立つ寒立馬の仔馬



2006♥下北半島おはなしきやらばん

子供たちの笑顔が最高でした!



2006♥下北半島おはなしきやらばんを、6月5日東通村体育館で開催しました。このイベントは人形劇を中心に歌や踊りを交え、会場が一体となった舞台を繰り広げるもので、東京電力と東北電力の共同主催により村内の園児および小学校低学年児童を対象に、平成16

年度から行っています。

今年はフィリピンに古くから伝わる民話をアレンジした人形劇で、「アダルナのうた」という内容でした。当日会場には園児・児童の約250名が集まり、劇団の人たちと一緒に歌ったり踊ったり「おはなし」の世界を楽しんでいました。



私たち職員も着ぐるみを着て子供たちを迎えました

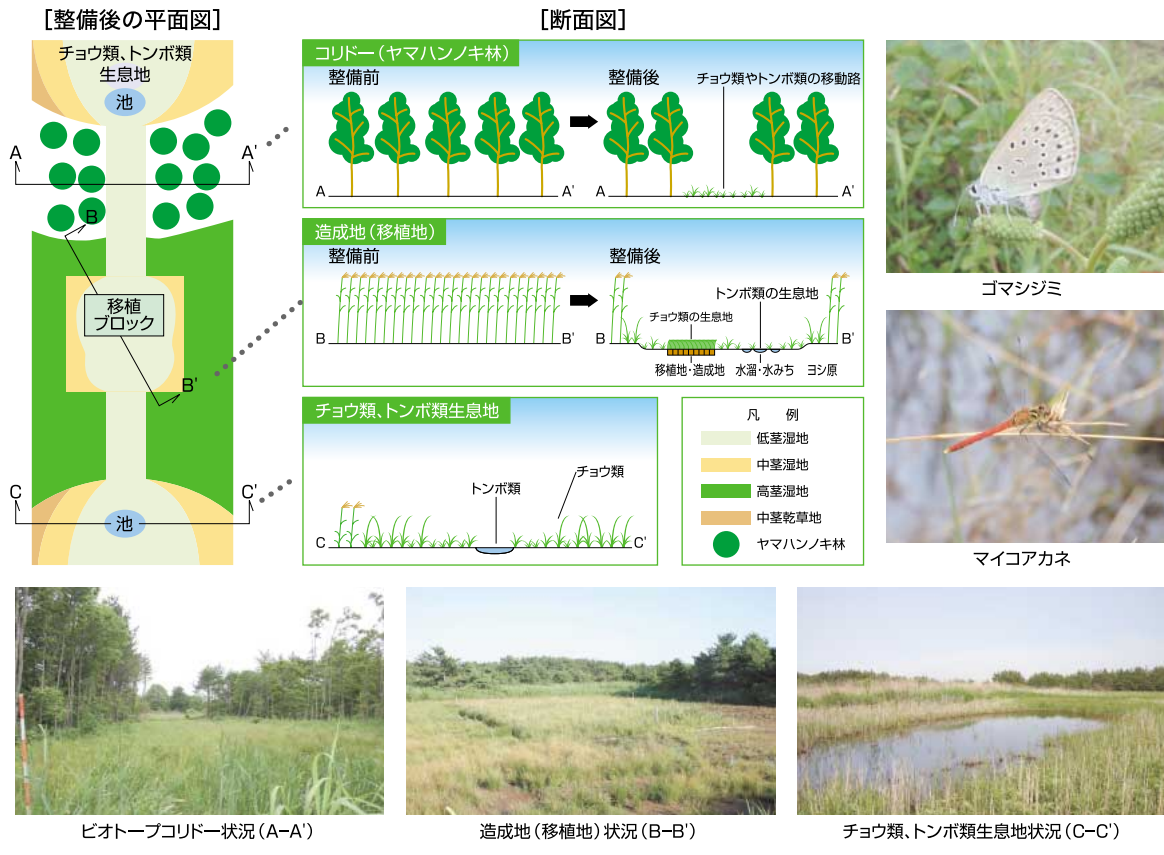
当社の東通原子力発電所1・2号機の新設に際しては、「環境影響評価法」および「電気事業法」に基づき一連の環境アセスメントの手続きが終了しています。当地点は敷地面積約460万㎡の内、湿原が約68万㎡(敷地全体の約15%)を占めており、数多くの動植物が確認されています。

発電所の建設に伴い造成する改変エリアは敷地中央部の湿原を含んでいるため、移動能力が小さい

チョウやトンボ等にとっては、連続的に存在している生息地が分断され移動が困難となる可能性があり、固体群の孤立化による種の消失が懸念されます。

このことから、土地の改変に伴う影響を低減するために、残存する生息地と新たに整備する生息地とを結ぶ経路(ビオトープコリドー)を設けると共に、改変エリアから植物の移植を行い固体群の存続を図るビオトープネットワークの整備を行っています。

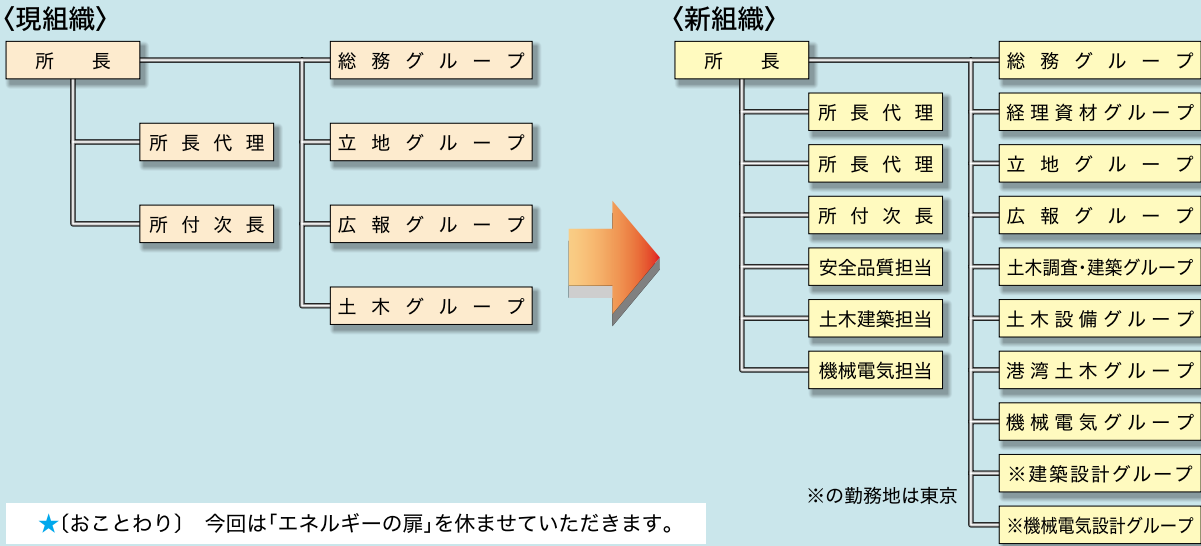
■ビオトープコリドーの整備イメージ及び現況写真



※ビオトープコリドーとは
 動物の生息地(ビオトープ)が離れている場合に、生息地間をつないで自由に移動できる生息空間のことをいいます。

※ビオトープネットワークとは
 複数の生物種群の生息・生育地とそれらを結ぶビオトープコリドーを総称していいます。

建設工事に向けて東通事務所組織体制が7月から変わります



若いお母さんが仲良く交流! IT講習・特産品づくりを通して情報を発信。

—東通村子育てネットワーク作り支援事業がスタート—

“若い世代のお母さんたちにもっと活動の場を”と、今年度から東通村で「子育てネットワーク作り支援事業」がスタートしました。独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)の助成と東通村の協力を得、NPO法人トゥーリーフが主管となって行われるもので、サークル名は「りらくす mama東通」。子育て中のお母さんの隠れたパワーを引き出すことで、本人はもちろん子どもたちや周りが元気になり、やがては村の活性化に繋がればと期待されています。



和気あいあいと「くずら餅」を作る「りらくすmama東通」の会員たち

この事業は、若いお母さんなどから「交流の場が少ない」「同年代の話し相手がない」「働く場がない」などの声が出される中、お母さん同士の交流を深めるのがねらいです。

1年間を通し、まずはネットワーク作りの中心としてパソコンを使って情報交換できるようIT講習を開催。また村の特産品作りに挑戦したり村内を散策することで、みんなが暮らす東通村を知り興味を持ち、やがては村外へ向けた情報の発信を目指しています。

発足会に続き5月29日は、村の保健福祉センターで初の事業である「くずら餅作り体験」が行われ、参加した6人のお母さんと子どもたちは“ふるさとの味”に歓声をあげていました。

くずら餅は、その昔、葛の根を擦って餅にしていた東通村に伝わるお菓子。この日は村内に住む二本柳照美さんを講師に迎え、餅米とうるち米4升を使っ



子どもと一緒に作れるのが楽しい

てキティちゃんの顔のお餅作りに挑みました。就学前の子どもがいる若いお母さんは、子どもたちを専門スタッフに見てもらえるから安心です。参加したお母さんたちは、のびのびと楽しみながら作り方を覚え、完成に大喜び。情報発信のため、デジタルカメラで撮影も行いました。

NPO法人トゥーリーフの氣仙米子理事長は「ここにいる時間だけはお母さんがリラックスできるようにと名付けたサークル。今日はみんなの生き生きとした笑顔が見られて良かったです。1年間を通し自主的活動のお手伝いができれば」と話します。また、りらくすmama東通の東愛子会長は「子どもを預かってもらうことにより、童心にかえった気分に参加できとても楽しかった。この後、パソコンを身につけたり村を散策することで東通の素晴らしさを発見し、村内外のみなさんへ伝えることができればと思っています」と話していました。



完成したキティちゃんの顔の「くずら餅」

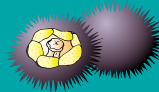


小さな子どもは専門のスタッフに見てもらえるから安心



会長の東愛子さん

うにの殻むき体験に今年も笑顔いっぱい! 電気のふるさとと電気の消費地の交流事業



2006

「東通村のかっちゃん語ろう会」 in 浮間小学校

6月10日、東通★東風塾のメンバーと尻屋婦人会のメンバー18名が、東京都北区浮間小学校を訪問。

参加者約150名で水産教室や、かんじえ(うに)の殻むき体験をし、そのあと東通米を

ジュラ紀湧水で炊きあげたごはんに、殻からむいた、かんじえ(うに)をのせ、うに丼を作り試食しました。

はじめて活きたうにの殻むきを体験した児童達は、東通村のかっちゃんから教わりながら、目を輝かせていました。

今年で3年目になる交流事業。浮間小学校のみなさんには、東通村がかなり浸透し、東風塾メンバーのみなさんの活気あふれる活動が、電気のふるさとと電気の消費地の交流をより一層深めた一日でした。



東通村のかっちゃんといっしょに記念撮影



じょうずに殻むきできるかな?

盛り上がった地域イベント

参加報告

東通村 第15回東通村春季ゲートボール大会

〈平成18年5月25日〉

東通村役場「ふるさと広場」において第15回東通村春季ゲートボール大会(主催:東通村ゲートボール協会)が開催され、東京電力からも「アトムチーム」として参加しました。



大会には村内5チームが参加し、リーグ戦形式で試合がおこなわれ、それぞれ日ごとの練習の成果を競い合いました。

優勝は全勝で老部地区の「かもめチーム」、当事務所の「アトムチーム」は2勝2敗でしたが、得失点差で準優勝となりました。



好天の中、村内5チームが参加
皆、童心の笑顔で楽しい二日でした。

東通村 植樹祭

〈平成18年6月10日〉

東通村の植樹祭に東京電力も参加し、昨年に引き続き尾瀬で育てたブナの苗木20本を寄贈しました。これは、東通村が官民一体となって取り組んでいる自然保護活動に当社が共鳴し、平成16年から贈っています。



寄贈にあたっては、昨年と同様に尾瀬の自然保護活動を担当する当社の竹内純子が植樹祭に招待されて自らブナの苗木を植樹しました。

当日は雨が降るあいにくの天気でしたが、当社職員は村内の人たちと一緒にコナラ、クヌギ、オオヤマザクラ、ヤマモミジ、ブナの苗木1,130本を植えました。



今年も東通村植樹祭に参加、村の人たちと一緒に一、二、三〇本を植樹。

まさかの半島
豆知識

みんなでヨーク考えてみよう!

ゆきしろみず

ミニミニ

クイズ



〈問題〉6月になると東通村の自然には美しい花が咲き誇ります。その中でも鮮やかな紫紺の「のはなしょうぶ」が目につきます。さて、東通村の村の花にも指定されている「のはなしょうぶ」は何番でしょうか?

応募方法

答がわかった方は折込ハガキでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様に図書カードをプレゼントいたします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。〈応募締切/平成18年8月18日(金)消印有効〉クイズの答えは次号に掲載いたします。



図書カード

3月号の答えは①でした

※応募総数54通で全員正解でした。厳選なる抽選の結果30名様が当選しました。

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本広報誌関連の使用を目的とし、第三者に開示・提供することはありません。



読者の声

[東通村 Sさん]供給計画が1年遅れ残念です。電力需要の下方修正をしたようですが、なぜなのでしょう。オール電化が増えていると、この先消費電力が増えそうなイメージです。次回でも回答できたらお願いします。

[編集室から]当社の東通原子力発電所1号機が1年遅れる理由は、これまでの漁業補償交渉等の諸手続を考慮し、より実質的な工程に見直したためです。また、2号機においては電力需要の下方修正を踏まえてのことです。確かにオール電化住宅は今後増える予想されますが、自由化による他エネルギー産業との競合激化や省エネの進展などが予想されることから平成16~27年度の年平均伸び率が1.0%と見込んでいます。

[東通村 Iさん]ゆきしろみずいつも見えます。今回初めてハガキを書きました。恵まれ

た環境で生活しても、気付かないで過しているんだなあ〜と広報誌を読んで思います。『祈水』是非、飲んでみたいです。東通ブランドがたくさんの人に愛されて世に出て行くのはうれしいですね!

[編集室から]「祈水」は私も飲みました。口あたりがよく飲みやすい女性受けするお酒だと思いました。

[東通村 Sさん]原子力発電の安全・必要性はなかなか素人には理解されず御苦労も多いと思います。東京電力の人々も遠方から来ている人が多いと思いますが、東通村に居る間はこちらの住民と積極的に交流を持って原子力の安全性をもっとPRして下さい。「ゆきしろみず」にこれからも期待しています。

[編集室から]貴重なご意見ありがとうございます

います。私たちも地域の方々とのふれあいを大切にし、原子力の理解活動に努めるとともに地域との共存共栄を図っていきたくと思っています。

[六ヶ所村 Sさん]手打ち十割そばは有名なんですね。昨年初めてその話を聞き食べに行きましたが、まさに書いてある通りでした。初めてそばの美味しさを知った気がしました。今年も是非食べに行きたいと思っています。

[編集室から]東通そばは私も大好きです。先日、東通村のそば粉を使ってそば打ちしましたがうまいきませんでした。手打ち十割そばを作るのは難しいですね。

編集後記

梅雨の時期になりましたね。ところで、梅雨の語源を知っていますか?調べたところ、この時期は(か)びが生えやすいことから(ば)い雨(ばいう)と呼ばれ、語幹が悪いので梅雨という字になったという説や、「梅」の実が熟す頃という説、「毎」日のように雨が降るから「梅」という字を当てられたという説もあるそうです。昔の人は良く考えたものですね。

私でときには雨がいつもの倍降るので倍雨(ばいう)なんてことを考えたりしますが。



お問い合わせ

東京電力株式会社 東通事務所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303

TEL0175-48-2121(代)・FAX0175-48-2019(月~金・平日午前9時~午後5時)

9月号(秋号)の主な内容予定

表紙写真/津軽海峡に映えるいさり火・東電トビックス・エネルギーの扉・村民の笑顔・イベント参加報告・ゆきしろみずミニミニクイズetc

◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。我々も雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていければという願いが込められています。

